

議 員 総 会 会 議 録

日時：平成27年10月13日（火）

場所：全員協議会室

午後1時30分 開会

○渡辺昭司議長

議員総会を行います。議題1、事業評価について行います。先日、各常任委員会の分科会で事業評価の取りまとめをお願いしました。先週金曜日に各議員の皆様にご送らせていただいておりますので、事前に資料の確認をしていただけているという過程で進めさせていただきたいと思います。各常任委員長から報告をいただきたいのですが、資料をお配りしておりますので、指摘事項等を中心になるべく端的にご説明いただき、後の協議事項に時間を割いていきたいと思います。総務委員長からお願いします。

○鈴木幸彦総務委員長

【資料に基づき説明】

○渡辺昭司議長

ただいまの総務委員長の報告を受けまして、簡単に整理いたしますと、自治区の加入促進につきましては、提言事業として加入者が何らかのメリットを得られるような8：20仕組みについて、人材確保については具体的に作成するということ、自主防災組織の強化につきましては、組織を作った中で活動助成を提言するのはどうか。4番については、管理職を育成する研修を拡充していくということと、人事課が担当課として人材育成をきちんと管理していかなければならないのではないか。ということ指摘事項として、総務委員会から指摘がございました。指摘の内容を含めたことや論調などにご指摘ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。

○山田清一議員

2点お願いします。初めに、自治区加入促進なのですが、施策の今後の方針で、廃止すべき事業とその他コメント。中身を読みますと相反することが書かれているように思われるのですね。市民活動公募提案型助成事業、これ自身が必要ないと言われている気がしまして、もしここで入れるのであれば、市民活動公募提案型助成事業は、自治区加入促進にはつながらないのか。そういう意味合いなのかと受け止めるのですが。逆に、ここはなしにして下のコメントに 自治区加入促進と市民活動公募提案型助成事業がつながっていないといいたいことはよくわかるのですが、廃止せよと言っているような捉え方が気になるように感じました。まず1点。

○鈴木幸彦総務委員長

ご指摘ありがとうございます。実は、分科会の中でまとめる時も山田議員の仰った通りの話が出まして、誤解を招くのではないかとということもあったのですが、今回評価をする個別施策、自治区への加入促進に対してということですので、裏にはそういうことがあるので、もしここを付け加えた方がわかりやすいというのであれば、考慮すべきだと思います。

○渡辺昭司議長

市民公募型提案事業は必要だが、自治区加入促進にはそぐわないという内容に委員長の方で、文書でわかりやすく直していただけるようにお願いします。

○山田清一議員

もう一点、自主防災組織の強化のところで、防災訓練は必要がないという防災訓練自体がいらないと捉えられかねませんので、地域の実情に合わせた実践的な訓練をせよということは分かるのですが、相反する内容になっているのでその点をお願いします。

○渡辺昭司議長

防災訓練は必要だが、各地域の中でそれぞれの防災訓練が必要なのだと。それもわかりやすい表現で直した方がいいということですね。

○久世孝宏議員

表現の問題ですが、自主防災組織の強化で町内会単位での自主防災組織の強化を図ると書かれていて、委員会の中でもこれがベストな答えだと。今の区でやっている画一的な防災訓練や組織だと意味がないので、実情に合った形で進化をしていく意図だと思うのです。その答えが、町内会単位というのがベストな答えとまとまっているのならば、その委員会の意見を尊重するのですが、趣旨としてはそれが隣組単位になってもいいだろうし、小さな区ならば区ごとでもいいし、町内会単位に限る意図はないのかなと。このように書くと、行政はこの通りにやりかねないところもあるので、例えば「町内会単位など地域の実情に合わせた自主防災組織を作るべき」とか、それぞれの実情に合ったもっと活動しやすい自主防災組織など、町内会単位というのは一つの例として挙げるにはいいと思いますが、それがすべてという表現でない方がいいと思いました。上から2つ目の「個別施策実現のために必要な内容が不足していないか」というところなどに影響してくるのかと。

○渡辺昭司議長

町内会単位ということではなく、地域に合わせた中で隣組やブロック等限定的な考えでないように地域の実情に合わせた形という内容に変えた方がいいのではないかと指摘ですね。相対的な論調などは3つの常任委員会の説明が終わってからにさせていただきます。

○沢田清文教厚生委員長

【資料に基づき説明】

○渡辺昭司議長

追加すべき事業の具体的な説明が分かりづらかったのですが、教育保育環境の改善については、保育ニーズは延長・早朝をお取り組みいただきたい等ですが、これらは具体的に必要な事業内容を含めた中で、きちんと指摘事項として入れていただいた方がいいのかと思います。追加すべき事業のところをよく確認いただいて、記入の内容が指摘事項でいいのかなど。委員長、もう一度説明してください。

○沢田清文教厚生委員長

【資料に基づき説明】

○石川英之議員

教育保育環境の部分の先ほど委員長の説明で、施策の今後の高まる保育ニーズのとこ

ろに早朝保育、延長保育、年度途中のという話が合ったのですが、追加すべき事業のところの「低年齢児の受入れを拡充すべき」が年度途中ではないのかという気がしました。啓発活動のいわゆる子ども 110 番の家の形骸化という表現が適切でないように感じます。啓発活動の総合コメントの部分では「個別施策と位置付けられているのが適當ではなく、体系自体の見直しが必要」というところ。地域社会のところで、個別事業が不明確なので体系化すべきというところの関連性とそれぞれの言いたいことがよくわからないので、そこを教えていただけますか。

○沢田清文教厚生委員長

低年齢児の受入れ拡大が、年度途中の受入れでよろしかったですね。機能されていないという意味です。最後の体系自体の見直しが必要と体系化すべきとの違いはないと言葉を整理させていただきたい。

○石川英之議員

啓発活動の総合コメントと地域社会のコメントで、方や体系見直せよと言っているが、もう一つは関連が不明確だから見直しなのでは。

○沢田清文教厚生委員長

11 の施策を見直してほしいという意味なので、体系の見直しということです。

○渡辺昭司議長

今の総合コメントのところについては、文言整理で分かりやすい表現に。啓発活動の子ども 110 番の形骸化ということについては、事業をきちんと行っているが当然なければいい、形骸化されていないかという表現は、事業がやれていないのではと取られてしまうと思うのですがよろしいでしょうか。

○中川健一議員

教育保育環境のところで、保育士の待遇改善という項目が3つくらい出てくるのですが、現状でどんな問題があるのか教えてください。待遇に問題があるから保育士の採用計画を前倒しすべきだとか、保育環境の改善をすべきと書いてあるので、どういう問題があるかを教えてください。

○沢田清文教厚生委員長

早朝保育あるいは延長保育の時の臨時職員とそれ以外での正規職員との絡み合い。そこが一番大きい。

○渡辺昭司議長

先ほど総務委員会の時、看護師さんの人材確保の内容のときにはある程度具体的にこういう条件があるのですね。中川議員のご指摘の中で、基本的にこういった部分を改善しなければいけないのかというご指摘だと思うのです。

○澤田勝副議長

ここでの保育環境改善は大きな問題として、保育士の不足のことがありまして、低年齢化0歳～2歳の要望が年々増えている。早朝・延長保育のニーズも毎年高まっているということで、採用計画自体が、追いついてない。採用計画自体はあるのですが、採用計画通りにほぼここ1、2年は進んでいるのですが、それ以上に保育士さんの不足がかなり心配な状況になってきている。その意味で、現在の労働環境の改善も必要ではないかという考え方です。

○中川健一議員

分けて考えた方がいいのでは。例えば、待遇改善ということならば具体的にこういった勤務条件の問題があるので、例えば有給休暇を増やせ、残業代払えなどの問題を言った方がいいと思うのですが、実際保育園の場合は有給休暇を年間 10 日以上取っていて、かなり状況はいいですし、残業もほとんどやっていないので、その中で何を言うのかは明確にした方がいいと思います。ただ、延長保育で早朝をやる人がいないなど問題は、待遇というより採用計画の問題であって、人員配置のやり方の問題だと思いますので、民間や先進的な自治体では既にやっていることですので、それは半田市役所のやり方がまずいという指摘になるのではと思います。

○渡辺昭司議長

正規職員の方の残業や時間帯で対応ができるのか、臨時職員を増やすことでそこを補うのか等、抜本的な計画の中でそういう内容で指摘した方が、具体的にわかりやすいのではないかと思います。よろしいでしょうか。

【なしとの声あり】

○成田吉毅建設産業委員長

【資料に基づき説明】

○渡辺昭司議長

観光資源の充実については、この追加すべき事業の内容のことで、山車文化を紹介する拠点施設等々が必要ではないかということです。回遊性のあるまちづくりについては、拠点があるが活かされていない中で、責任機関をしっかりと作るという指摘が具体的になっています。新たな観光施設の掘り起しについては、内容自体が観光にそぐわないのではないかと、もしかしたら市民協働課等の内容に近いのではないかとという観点かと思えます。もし方向を変えるなら、半田の観光資源にしていくという内容にしていかなければならないのではないかとすることであります。知多地域の観光の推進については、具体的に知多半島の 5 市 5 町でいろんなことをやっていくということが具体化されていなく、たしか民間の方が事務局長になっているか何かで、そういう方がみえても政策的には具体化されていない中で、もっと半田市がリーダーシップをとり具体化していきたいという意味で、これが具体化したい事業ではないでしょうか。外国人の誘客については、パンフレットや看板などサイン事業で、具体的に外国人を誘客しようとする内容が明記されていない内容なので、事業名に合った具体的な施策を追加すべき事業に指摘されているのではないかと思います。個別施策を指摘した中で、不足していないかというところがない部分がありますので、整理してご記入いただきますよう思います。総合コメントのところは、一通り終わった中で項目の表現等々を含めた部分を整理し、皆さんにご意見をお聞きしたいという風に思います。成田委員長からの説明の中で、何かご質問したい方がいましたらお願いします。

○加藤美幸議員

観光資源の充実の追加すべき事業のところで、食のことは魅力的なことと思いますが、半田市の食は醸造、酪農で他ではないところだと思います。それらは和食に繋がり、和食は健康に繋がり、世界的にも注目されています。半田は健康・長寿につながるというところを新たに追加すべき事業として加えてもいいのではないかと意見として述べさせ

ていただきます。

○渡辺昭司議長

加藤美幸議員からご意見が出たのですが、健康や長寿は観光資源を掘り起こした後の話で、半島の食を活かした中で学校給食等食の教育をやっていく観点の流れからだといえると思うのですが、観光資源としてこの事業に沿うかが気になります。

○成田吉毅建設産業委員長

委員会でハード面の指摘を考えています。素材を観光資源化したのち、そういった内容も含めて裾野を広げていくような話まで含めると、そこまでできていなく遅れているのではないかと話になってきますので、素材が揃い観光資源化してくる中で、いろいろなストーリーのような話は後から付け加えた上で膨らましていく。回遊性などの方向性の方にいくような話も委員会で出ていましたので、そこまで含めると難しい判断になってくるのではないかと委員会ではラインを決めて判断させていただきました。

○渡辺昭司議長

一定の観点の中で今回整理された状況があって、事前に整理した中でそこまでに留めたということなのですが。

○加藤美幸議員

私としてはインパクトが少ないのではないかとこの気持ちがあって、観光資源として他と違うところをアピールするなら健康長寿の食のまちとして、インパクトを強く出した方がいいのではと思います。

○山田清一議員

加藤議員が言われました内容は、先ほど委員長も言われましたように、特に我々は観光資源の充実がハード面を中心に。今言われたところは、回遊性まちづくりの個別施策の実現に向けて順調かの部分と、追加すべき事業はないかの部分にも書かれています。地元の地域資源・農畜産物・観光物産を体験型・交流型の資源として活用することや、回遊ルートや観光拠点に歴史文化のストーリー性を持たせて情報発信すること。加藤議員の仰ることはここに入ってくるのかなと私は受け止めているのです。ここに集約されているものと捉えていただきたいと思います。

○渡辺昭司議長

他にありませんか。

【なしとの声あり】

各常任委員長からご報告をいただきましたので、総合コメントがない委員会と指摘している中で、不足しているものがないところを書いていないものがありますので、書いていただく。今回この評価シートで初めて事業評価を行いましたので、各委員会の中で同じような指摘をしても書いてある項目が違うのではないかと。論調自体が3つの委員会で整合性がないのではないかと等、気になる点がありましたらご指摘をお願いしたいと思います。

○石川英之議員

基本的に論調というより、内容が3常任全部違うと思っています。総務委員会は、委員会の中で一番要望する部分を書いてあるので、総合コメントでは語尾が強く望むと書いてある。文教は感想文です。建設はないところもあり、「動きがほしい」など希望なの

かわからない部分があり、3 常任それぞれの捉え方が違いますので、その辺りに関しては委員長さんたちが集まって同じ土俵で考えてもらえばいいと思いますので。

○渡辺昭司議長

総務委員会は追加すべき事業のところに、具体的な内容が書いてあって、総合コメントについては具体的ではなく総括的な部分で精神論的にこうやってほしいと書いてあると思います。建設産業委員会は今後の方向のところで具体的な指摘をしているので、総合コメントでは精神論的な話はなくてもいいのかと判断されて書いてあるところとないところがあるのではないかと思います。今、文教厚生委員会では内容の感想が書いてあるとのことですので、今後の方策で具体的な内容を書き、総合コメントでは相対的なここをきちんと取り組んでほしいという内容を書くように統一をしてはどうかと思うのですが。そうしてください。途中にも委員長さんにもお集まりいただいたのですが、これは常任委員会ごとに当局側に出すのではなく、半田市議会として当局側に事業評価として出すので、結局それぞれに異なると当然いけないことですので、今の内容で統一していただいて、その内容で直していただきたいと思います。16 日の 16 時に市長部局に事業評価を提出しに正副議長・各常任委員長で伺う予定になっておりますので、できれば明日 14 日までに、3 常任委員長、整理していただき直した内容が分かるようにして各委員さんにメールさせていただきますので、委員長さんの労力が大変増えますが、他の委員さんは労を労うお言葉をかけていただければと思います。よろしいでしょうか。

【なしとの声あり】

それでは 15 分間程度休憩とします。

午後 2 時 27 分 休憩

午後 2 時 39 分 再開

○渡辺昭司議長

それでは次の協議題に移ります。10 月 8 日に行われました議会報告会につきまして、よりよくしていきたいと思いますので、会派の意見のとりまとめを各会派の代表者からしていただきたいと思います。

○石川英之議員

両会場ともアンケート用紙が足りなかったというのは準備不足だったのでは。委員長報告の場面では、説明でなく読み上げだったため、非常にわかりにくかったと市民の皆さんからのお話をおききました。おそらく板山会場だと思いますが、時間内に意見交換や回答ができなかった。質問に対して仕分け作業に手間取り、全部に答弁できず、質問者に大変な迷惑をかけた。答弁できなかった部分は後日答弁すると対応したようですので、議会だより、ホームページ等々に対処をした方がいいという話がありました。一昨年まではその辺りもしっかりホームページに載せていましたので、今年からはしっかり前に戻して、ホームページに載せていきたいと思います。3 常任の委員会のすり合わせを綿密にして、他の会場でも同じ内容で報告できるようにすべきだと思います。映像ですが、有協会場で不備がありましたので、しっかりリハーサルが必要だと思います。2 か所での開催はいいと思いますが、できれば日にちを分けて行っていただけると、他の会場の雰囲気もわかります。同時開催というのは、このように意見集約をしてもおそらくその雰囲気は全く分かりませんので、2 日間に分けて発表とお手伝いに分けて行

えるといいのかなと思います。ここ最近アイプラザで行っていたのを今回地域に出向いたということで、地域に出向くのはいいと思いますので、今後も続けてやっていけたらいいと思います。あくまで3常任の委員長の思いですが、広報広聴委員会を開催するにあたって、議会報告会の内容を詰める時だけ3常任の委員長にもその場に呼んでいただけたらありがたいと言っていました。

○山本半治議員

2会場を箇条書きで表したので、読ませていただきます。有協会場は、会場設営は事前に多くの机や椅子を並べず、人数を増えた段階で順次増やして対応していたのがよかった。パワーポイントの不具合により、途中から使用不能となった。その為にパワーポイントは担当者を決めて操作するよう検討する必要があるのではないか。各常任委員会の資料は見やすく大変わかりやすかった。口頭での常任委員会の説明が、各委員会で統一されていなかった為、事前の協議が必要ではないか。政務活動費に関する質問が多かったが、大変わかりやすく説明されていた。以上が有協の報告です。板山は、会場設営は追加人数分も含め、スムーズに実施できた。全員で机・椅子出しをしましたが、スムーズにできた。パワーポイントの説明では、市民の方の声でありましたが、原稿丸読みでの説明ではわかりにくいとの声、参加者に背を向けて説明するのはいかがなものかとの声がありました。参加者50名の予定で準備をしましたが、67名と大きく予想が上回ったために、追加資料の手配が大変だった。今後、予備の資料を多く用意する必要があると思いました。参加者が多く、質問が多く時間が足りずに答えられなかった質問に対しては、今後どのように対応していくかはこれから検討していく必要があると思いました。板山では、全員で質問に対する答えをすることができ、議会としてのチームワークの良さを感じた。以上であります。

○小栗佳仁議員

志民ネットの回答です。板山会場では、皆さんの熱心な呼びかけによって多くの参加が得られたのではないかと思います。資料は見やすかったのだが、ない部分の説明は非常にわかりにくいではないかと思います。有協会場では、資料にない説明は分かりにくい。映像の自動送りが入っていた。みなさんからご指摘のあったように、リハーサルでは自動送りなく、原因は不明ですが最後に映像が復活できたのですが。このことについて、しっかり原因を突き止め、操作者を決めて取り組んでいきたい。両会場とも政務活動費についての関心が高く、時間の面で司会が困っていたのでは。総括をしますと、映像の問題と配置の問題等、役割分担をしてはどうかという意見でした。以上です。

○山内悟議員

アンケート用紙を忘れていたために、準備をしっかりしなければならない。板山では、67人+議員11人で78人ですので、資料が50部しかなかったので足りなくて、公民館で刷ることができたのでスムーズに対応できたのかなと思います。鉛筆が不足したために、自分でお持ちの方からは回収等、大変混乱しました。質問項目が多く41通でした。1通の中に5, 6問書いている人もいて、司会はその仕分けで大変時間がかかり、答弁者が答えていることも聞かずにやっていたことにより、重複して質問を求める場面もありました。大変申し訳ございませんでした。いくつかありましたが、市民に背を向けるなんて理解できない等のご指摘をいただき、原稿の棒読みではっきりわからない等の指

摘もありました。今回の失敗の経験を次回に活かしたいと思います。

○石川英之議員

1つ飛ばしてしまいました。質問に対する説明が長くなりがちなので、今後もう少し説明をコンパクトにまとめて答えられるとよりスムーズにいくのではないかという意見もありました。

○渡辺昭司議長

今出たご意見を議員総会の議事録を起こしますので、その内容をまとめた中で、山内広報広聴委員長には議会報告会の内容での委員会を行っていただき、意見のとりまとめをしていただき、議会だより等々に載せるなど宿題が出ておりますので、整理してその後全議員に伝わるよう次に同じことが繰り返されないよう具体化していきたいと思います。今回、政務活動費の内容もあったので、政務活動費検討委員会との調整があるようでしたら、引き続きよろしくお願い致します。議会報告会の内容で他に何かあればお願いします。

○久世孝宏議員

広報広聴委員会の手動になっていくと思うのでぜひお願いしたいのは、今回2か所に分けたことの総括をお願い致します。もともと2か所分散開催していたものを2、3年前から1か所でやろうと進んでいきました。分かれていると会場の雰囲気やどんな意見でどうなったのかをなかなか共有できないので1か所にしようと進めてきたわけです。今回2か所にして、その部分がどうであったかを含め、総括をしていただきたいと思います。お互いの会場でどんな協議をされたのかなるべく早く知りたいので、ぜひお願いをしたいと思います。

○渡辺昭司議長

たしかに、前期2か所でやっていた時お互いの場所の内容が分からないから1か所にした中で、また2か所にした時の意見・目的があったらよかったのですが。その辺りも、反省の内容が活かされずそのまま次の議会報告会に流れているというのが多い気がするので、その内容を共有して早めに委員会を開いていただいて、久世議員からの意見のように全体で共有する場を持った方がいいかと思いますのでよろしくお願い致します。次の議題に行きます。長寿訪問の事件につきまして、先日、全協の時に小栗議員から長寿訪問に遅刻された内容のことでの報告があり、その後にタイムスケジュールの資料が提出されました。そのことにつきまして、各派の代表者の方から一度議員総会でこのことの内容確認をしたいということでありましたので、今回、議題にあげさせていただきました。このことにつきまして、資料をご確認いただき何か確認されたいということがございましたら、よろしくお願いしたいと思います。

○石川英之議員

順番にさせていただきたいと思います。まず、前回全員協議会の折に小栗さんの話を受けて私も質問させていただきました。当初、マンホールを見つけて掃除をして、掃除をし終わって周りを見た時にどこにも油の汚れが他に無かったので、一旦家に戻ったというお話を聞いたのですけれども、出された地図によると最初マンホールがこの交差点の角、そして後々見つかった油の道と言いますか、油がずっとあった所が数メートルも離れていないというかほぼ、一直線上にあってもおかしくない所だったんですけれども、

これは本当に最初の時点で見えなかったのでしょうか。まずそれを。

○小栗佳仁議員

見えなかったというか、あわてていて、その周辺、マンホールの周辺しか見てなくて、図に書いたようなイメージだったのではないかなという、後でこれは現場を見ながらこんなイメージだったのかなという形で絵を書きました。

○石川英之議員

それでは時系列についてお聞きします。まず8時50分に市の担当者と待ち合わせをしている状況で8時半に青山におったというか、8時半に青山を出るという、このまず時間的な配分が普通で考えた時に20分しか無い状況で無理がある気がするのですけれども、なお且つ、8時半に青山を出て、僕が普通、普通という言い方はおかしいですけども、青山の何処かわかりませんけれども、小栗さんの家に帰る時にいわゆる、今で言うジョーシンの前を通らず、ようするに旧市民ホールの所を曲がった方が圧倒的に家に帰るのに近く時間も短く済むと思うのですけれども、大通りですから、わざわざ駅前を通っていくという時間の設定と道順がどうしても私では理解できないのですけれども、その辺ちょっと説明願えますか。

○小栗佳仁議員

通常、青山の交差点の所から自宅まで帰るルートはですね、サウナグリーンの所のT字路を左に曲がりまして、半田大橋を右折します。そのルートで行きますと通常15分前後で家に到着しておりました。なぜそこを右折しなかったという話ですが、右折レーンの青く塗ってある所ですか、あそこが通常の2～3倍の車が止まっていたものですから、信号を2つ3つやり過ぎさないとはいけない。通常と違ったくらい並んでいた記憶があります。それによって直進に方向を変えて行った方が間に合うのではないかということで直進しました。で、橋げたの下を通って佐五銀を超えた信号を右折して帰るルートに、通常とは違うルートを通りました。

○石川英之議員

通常と違うルートでというのは分かりました。8時半に青山を出て、8時50分に家に着くという通常だったら余裕なののでしょうか。人と待ち合わせしている時にある程度の余裕を持って出るのが普通だと思うのですけれども、市の職員だから待たせておけばいいや、もし仮に遅れても待たせておけばいいやというような心理が多少なりとも働いたのでしょうか。

○小栗佳仁議員

だいたい14～15分ぐらいで家に到着していたものですから、5分間の余裕を持っていたつもりでいます。それが正しいか正しくないかちょっと僕の中では、ちょっとまづいかなところもあるのですが、いつも間に合うのでというイメージでいました。

○石川英之議員

次に、車で走っていて、当初マンホールの濡れというか汚れに気がついて車を停めてマンホールをしっかりと危ないからということで、しっかりと拭いた。それくらいの細かな小栗議員が、次に待ち合わせの場所に向う途中で信号で止まって目の前のバイクが油で滑ってこけた。その油の道をずっと見ながら行ってしまった。最初の状況で考えれば、小栗さんという方は非常に目も良くて、車で走っているのにマンホールの汚れを見つけ

て止まったような人が数十メートルの間、油まみれになっている道で状況的に考えてそれで見過ごして行ってしまうというのがちょっとどうしても理解できないのですけれども、その辺りはどうなのでしょう。

○小栗佳仁議員

当初の汚れの状況ですが、どういう時間帯になのかわからないですが、当初の汚れはそんなに無かった。靴で確認して滑りがあったので、危ないと思って車にティッシュを取りに行き拭いた。一旦自宅に戻って待ち合わせ場所に向う途中見た時に拡散していたのですね。その拡散状況が下の図にあるようにかなりの拡散状況になっていまして、そこで停車している時にあわててしまって、そこへもって転倒という状況を見て更に衝撃を受けてしまって自分のやったことが間違っていたという衝撃を受けまして、当初の発見と後で戻っていく時に見た状況があまりの変化であったということです。当初の油の漏れていて拭き取った状況で家に帰って遅刻したということが分かって、待ち合わせ場所へ向かう時に見た状況は、その油の状況がとおり道に通ってきた状況と全く変化していまして真っ黒な帯になっていました。その状況を見過ごしてきたかという和多分そういう状況に8時50分前後の時点では、なかったのではないかなと思います。思いますとしか。

○石川英之議員

ですから、僕が聞きたいのは、その8時50分前後の時にまずマンホールが濡れているのを見つけたのですよね。それを丁寧に拭き取ったのですよね。それが今度家に帰って、あ、遅刻しちゃったなって、思ったかどうか別としても、実際遅刻されて丸鐵へ向かう途中にこんな帯を見つけた人が、たかがマンホールを見つけて綺麗に拭いた人が、なんで帯を見つけたのに行っちゃったの。そういうことです、僕が言いたいのは。

○小栗佳仁議員

その件ですと、一応車から降りてマンホールのもう一回足で、信号待ちしてましたのでバイクが転倒して、そこがパニックではっきりした記憶は無いのですが、滑りを確認して簡易的に拭き取って何処が根元なのか分からないまま丸鐵さんの方へ向かったのは事実です。根元は分かりません。分からないまま走って行って丸鐵さんに向かって行って、下のような図を作成しました。

○石川英之議員

ちょっと余計に分からなくなった。小栗さんは下の図でいうとなべくらやのどこを曲がって行ったのですか、それとも真っ直ぐ行ったんですか。この油まみれの道を通って行ったのですか。

○小栗佳仁議員

下の図でいきますと、車と書いてある所を停止、これが信号で止まりました。そのまま真っ直ぐ西へ向かって走っていき、そこを右へ曲がって丸鐵さんの方へ行ったという。

○石川英之議員

そうすると、四角で囲まれた点々が全部油なのですよね。これは小栗さんの通った道ということではないですよね。油が拡散されていたということです。そうすると、青山から家に向うときには気が付かなかった。これはもしかしたら、時間帯にちょうど9時前後にもしかしたら油が漏れていたのかも知れません。若しくは、対向車線だった

ので家に戻る時は気が付かなかったかも知れないのですけれども、だとするなら余計にその小さなマンホールを最初に見つけて、上の図でいくと車をわざわざ遠くへ停めて、見に行つて油だいかんとティッシュまで取りに行つて拭いたような人がなんでこんな帯になった油の道を自分自ら通っているにもかかわらず待ち合わせの場所に行っちゃったのかという疑問がどうしても残るんです。危ないと思ってマンホールはたかだか濡れたのを危ないと思って拭いたような人がなんでこんなビシャビシャの、これビシャビシャですよ。恐らく、結果バスのオイルのキャップが外れているということは、もうオイルパンに入っている何リットル、何十リットル入っているか分からないのですけれど、この道を油垂らして走っていったわけですよ。普通に考えた時にこれは見過ごせないのじゃないのかなって思うんです。たかがマンホールですよ、最初に、たかがマンホールを見つけた人がオイルの道になっているところに普通だったら車停めてハザードつけて危ないからここ通っちゃだめだよと言うのが普通なんじゃないかなと思うのですが、何故それが出来なかったのか。

○小栗佳仁議員

バイクが転倒したことによりまして、ちょっと衝撃を受けてパニック状態に陥ったのは事実です。その時に道路の所の滑りは、一応転倒場所の周辺確認したのですが、そんなに滑らなくて、足で確認しただけなんです。それでそのまま信号がひと信号見過ごしたかな、くらいで発進して行って、そういう判断ではこの時点ではなっていなくていいました。申し訳ないですけど、この間を走って立ち止まるという行動には至りませんでした。そこはどうして自分がそういう判断にならなかったというのはよく分からないのですが、という状況です。

○石川英之議員

ここに油拡散状況確認しながら走行して括弧パニック状態と書いてあるのですが、パニックだと言いつつもきちっと状況を確認して、丸鐵で合流しているんですよ、そこから議会事務局かなんかに電話をしているんですよ。ですから何処がパニックで何処が普通の精神状態なのかというのがよく分からないのですけれども、いずれにしてもバスが実際にここを通った時間帯というのが僕も確認できないというかしていないので何とも言えないんですけども、要するにある意味往復しているんですよ。ここを、でも本当にこんな状況でこのマンホールの蓋だけが本当に濡れていたのかなと、だって2台も3台もオイル漏らしていたわけではないと思うのです。僕はそのバスだけがオイルを漏らしとったと思うのです。そんな中でここが濡れておれば、他も全部濡れていたはずだと思うのです。そうやって考えると小栗さんがもしかして行きに、家に戻る最初の段階でこの道を通ってないのじゃないのっていう疑問も出てくるんです。実は8時50分に長寿訪問という話があったけれども、もしかしたらこれを忘れとったのじゃないか、で、用事を済ませて普通に違う道で帰ってきた時に、この道通らずに、あれいけないうって慌てて丸鐵に行く時にこれを見つけて、ということも考えられちゃうんですよ。だってあまりに不自然じゃないですか。マンホールしか行きは濡れてなかった。

○小栗佳仁議員

これはその後、分かったことがひとつあり、長寿訪問を乙川駅前のタバコ屋さんの所に長寿訪問があった段階で、市の職員が掃除していました。その市の職員の話をついた

ところ、そのなべくらやさんの前にオイルパンのところのネジが落ちていました。ということで、その周辺がビショビショになっていた。という特に酷い状況であったという話を聞きました。これはあくまでも僕の推定なのですが、その漏れた時間の経過によって他の車がタイヤに付けて引きずってしまったのではないかなと、いうこれはあくまでも推定ですが、そんなように思います。で、自宅に帰った時に妻から職員が出発したということを聞いて、そこで改めて遅刻に気付いたわけですが、その時に油を拭いていてと言う話を妻にしたということは確認しております。妻から貴方は後々の話ですけど、電話は私からも入れたという話も聞いていますので、これは確実にそこを通ったということは後の時間のところで、この報告書作る前ですね、当日の後に聞いた話から推定すると聞いた話から推定するとそういう状況だったのかなと思います。

○石川英之議員

なべくらやさんの所でオイルパンのネジがとれて、そこが仮にビショビショになった、そうすると小栗さんが最初に見つけたというマンホールまで濡れが達していたとなれば、小栗さんの車は確実にオイルを踏んで走っていますよね、この時点で多分。要するにあそこの場合は傾斜、坂道というかある程度傾斜あるものですから必ず小栗さんは多少なりとも滑った感覚があったのか無かったのか。あったから止まったのか、ただ、本当に車が走っていてマンホールが濡れているくらい誰もあまり何も考えずに走って行きますよね。普通、わざわざ止まって何であそこだけ濡れているのだというふうには、一般的には思わないと思うんですが、その辺はどうなんですか。

○小栗佳仁議員

ここは定かな記憶じゃないのですが、ビショビショ交差点が濡れていたかと言うとそんな記憶もないし、戻った時点でそれだったら分かっていたと思うんですね。漏れた瞬間との時間の経過はちょっとよく分からないんですが、図に書いたような状況の油は確認して、僕の車のタイヤに踏んだ跡があるかと言うと、それもちょうど記憶にないんですが、ということでちょっとここらへんは、不確定な部分が多くて、図の書き方が申し訳ございません、マンホールの上側の方に、なべくらやという和菓子屋さんがあります。

○石川英之議員

車が踏んだが踏まなかったのか分からないのは別にいいですわ、けどもマンホールの汚れに気が付いて、車でわざわざ行き過ぎて止まって、わざわざティッシュを取りにいった綺麗に拭いたような人が何故目の前でバイクがこけた、ずっと油が拡散しているのをほかって行っちゃうの。ていうのは、そんな人だからと済ませればそれで終わりなのですよ、僕はそんな奴ですと言われてしまえば、それまでなんですけれど、そんなマンホールをわざわざ見つけて止まって拭いたような人が、何でこんな拡散されているものをほかって行けちゃったのかなっていう疑問が残るんです。だからそれを何とか払拭したいので是非その辺りを。

○小栗佳仁議員

下の信号で信号待ちした時に、足でこすってはみたんです、舗装路を。そこについては、あまり滑ってない状況の中で原因が分からないという何処が発端なのかもよく分からない中で、丸鐵さんへ向かうということが頭にあってですね、その行動が自分でも

上手く説明できないのですが、何故そうなったかというのは、そうってしまったんですね、現実的に、丸鐵さんまで向かってしまったというのが現実です。

○中村宗雄議員

こんなことをお聞きするのも今日が最後ですので、ちょっと分からないところを数点教えて欲しいのですが、何でもこんなことが取り上げられているかということ、きっとやむを得ない遅刻だったらっていう話だったら、皆それはしょうがないんじゃないのという話の中で、どうも納得しにくいよねって話があるからこんなことになっていると思うんですね。そもそも何でもそうなのですが、自分に置き換えて考えるようにしているんですけど、8時50分に自宅で待ち合わせしていたら、青山に8時半に来いと言われてたら断ると思うんです。昼に終わるから午後からにしてと。そもそも8時半に青山出たわけなのですが、この8時半までここに何しに行ったんでしたっけ。

○小栗佳仁議員

拡声器等を返しに行きまして、8時の時点に開くということで、拡声器を返しに行つてミーティングが始まるということで、8時半より少し前に出発しました。8時半という時刻は青山のフィール側の交差点のところで時刻を確認した時間です。

○中村宗雄議員

わざわざそんな日に物を返しに行くのだったら、いつでも、前の日でもよかったと思うんですけど、あえてこの日に行かれたというのは、相手がいらっしゃるということですから、きっと本当だと思いますけれど、僕自身はあそこの前通ったりしても、そんな朝から開いている事務所ではなくて、逆に事務所がまともに開いているのを見たことが無いくらいの事務所だという僕は認識でいる中で、そこに凄く違和感を感じるわけですよ、その辺りの中で仮に朝そこに行つてらっしゃったことはいいですが、どう考えても、さっき石川議員が言われたように僕だったら、マンホールの上に少し油が付いていることなんて、きっと気にもしない。急いでいるのですよね、だってぎりぎりなんですよ。僕だったらきっと10分前には行こうと思いますから50分に来るのだったら少なくとも40分には家にいなきゃという意識でやると思うんですね、そうすると時間が無いものですから、ちょっとでも前に遅い車がいたらイライラするだろうし、何よりもまず家に帰らなきゃということを第一義にして考えると、そのマンホールの小さな油汚れを見つけたということと、帯状に油が拡散していることを黙認しちゃっていることがどうしても理解できないんですけれども、慌てて事実そうだったんですと言われても、本当にそうなのかという話になってしまうんですが。何故油を見つけたの。なんでそんなことが気になるのですか。

○小栗佳仁議員

私、過去勤務が鉄の関係で床という部分に油が、どうもそういう状況があつて最初は油なのかどうかという判断にならなかった。一旦車置いて慌ててはいたのですが、まだ間に合うという中で、確認してこれは油だということを知って、そこから慌ててしまいまして、拭き取りに走ってしまったというのが現実です。

○中村宗雄議員

確か9月11日は暑い日でしたので、エアコンが付いている車が交差点に止まっていれば、ドレーンから水が出て来ますよね、だから道路上に晴れていても水の黒いシミが

出来ていることなんて、そんな珍しくもなんともない。もともと職業柄油というものに対して凄く注意を払うようなお仕事だったとしたら、逆に2回目油を見つけて丸鐵さんに向う時というのは左車線にずっと帯状になっていたと思うのですね。最後、砂を散布した後の写真を見せてもらいましたけれど、砂の散布量から考えてもかなり多い量だということが想像されるのですね。小栗さんはその油を自分で踏んで左車線を走って行かれたのか、それともそれを避けて右車線の反対車線を走っていかれたのか、どちらを走っていかれたのです。

○小栗佳仁議員

信号交差点で、先ほど申し上げたように、すべりは確認してそのまま普通の車線を走行して行っています。

○中村宗雄議員

そうしますと、油があるところを自分の車で走っていくと、またその油がどんどん拡散していくじゃないですか、自分がマンホールの上を通過すればその上にもものつてしまいますよね。そういうことと、最初言われた職業柄鉄に対しての油が付着することが凄く気になるのだということが、どうしても符合しないんですよ。これを分かれと言われても、そもそも8時50分に待ち合わせしている時に青山に行くということも僕は理解できませんし、今みたいな油の取扱いが1年も経っていれば、これを教訓にこれから油は無視しようというのは分かるのですが、同じ日のまだ1時間もまだ経っていない時に人間性がそんなに変わるものじゃないじゃないですか。初回の油は過激に反応して、2回目の油は無視すると、本来これ逆なら分かりますよ、初回は待ち合わせ時間に遅れそうだから、油を黙認した。2回目は時間に余裕があったから、拭き取りや、何かするだとか。分かりますか言っている意味。例えば、小栗さんが本当に油に対して注意、危機感を持ってらっしゃるなら、ここで車停めてハザーとたいて、ここは油だから入って来ちゃいけないと、オートバイこけているのですよね。そうやって安全措置をして、別に長寿訪問なんてどっちでもいいと思うのです。ここで交通の安全を守るのが然るべきだと思うのですけれども、そこで何故長寿訪問を優先されたんです。

○小栗佳仁議員

バイク転倒事故を見た段階で衝撃とパニック状態になっていまして、冷静かというところほとんど、記憶があまりはっきりはしてないのですね。そんな中で、なんでこんな判断になったのかと言われるとよく分からないですが。

○中村宗雄議員

では、こけたオートバイ、オートバイの方が油に乗ってこけたのを見て、わっと衝撃的でパニックになられたのですよね。その見た瞬間に小栗さんは車を止められて、このオートバイの人を助けたのか、この人が起き上がるまで後続が突っ込んでくる可能性がありますよね、そういう安全措置を行ったのか、そうでないのか。

○小栗佳仁議員

信号待ちで止まっていました。先に見たのは油の拡散で直後に左折して目の前でバイクが転倒して、大丈夫かと窓を開けて声をかけたところ、すぐ立ち上がってカバンを持ってスタートしてしまいました。それくらいの記憶で誠に申し訳ないですが、そんな記憶です。

○中村宗雄議員

きっとオートバイは北側から来て、西側に曲がられて転倒したと思うのですが、状況的に今回何を問題にしているかという話になってくるかと思うんですが、遅れたことは勿論悪いに決まっている。ただ、遅れたのは、当日の朝8時に青山に行った時点で送れる可能性があるわけですから、本来油があろうが無かろうが、その部分が1点と今みたいに交差点に入って来たオートバイがこけて次のことが起る可能性があるわけじゃないですか、交差点内ですので、それを僕は大丈夫かと声をかけて次に行っちゃって、次のオートバイがまた走ってくるかも知れないじゃないですか、そこの安全というものをなんでかんかしちゃったのか、本来どっちが大事かと言ったら、僕は遙かにこっちが大事だと思うのですね、人の命に係わりますから、長寿訪問は小栗さんが行かなくても、きっと誰も困らないですよ。その辺りどうなのかなと思ひまして、正直に本当の話が聞きたいのですけど。

○小栗佳仁議員

自分の判断の中でバイク転倒してバイクに声かけて、足で確認してマンホールの所は再度拭き取ったのは拭き取ったのです。それが車の中に残っていたので、それは分かったんですが、そもそもそこがよく思い出せないでいるのは、自分が衝撃を受けてパニック状態になったのは事実です。そこら辺の前後が何をどうしたかというのは、後々自分がそこを歩きながら確認しているのですが、ちょっとよく思い出せないところがあります。申し訳ございません。

○中村宗雄議員

やっぱりどれだけ説明してもらってもよく頭の中に情景が浮かばないのですよね。パニックになっちゃったから自分の着ている上着でも油のところに投げ出したり、車のフロアマット全部ひいて油を吸い取ろうとしたりしてというなら、そこで小栗さんがえらいことをやっているという話だったら何となく分かるんです。パニックになられて油というものに対して危機感があるから、そうしていると。大丈夫かなと次の待ち合わせポイントに冷静に向かっていることが僕はパニックだと思わないのですよね。それより10分も経ったら逆に長寿訪問が始まっているわけじゃないですか。ちょっとどうしても向こうが気になるから悪いけど今日行けないからと言って、現場の対応してもらうとか、全然パニックじゃなくて適格に長寿訪問をこなされているのも、本当だったら気になって気になってごめんねってなっちゃうと思のですけれど、そんなこと無かったんでしょうか。これパニックなのか冷静なのか、それすらもよく分からないと思うのですけれども。

○小栗佳仁議員

自分の中できちっと判断できていたのかという部分で非常にショックというか衝撃というか、その時点から自分正しい行動をしたかどうか、間違っていたのかも判断ついていません。丸鉄さんの駐車場に着いて、今度は長寿訪問の方に頭がいったのは、いっちゃったと思うのです。これが冷静だったのか、パニック状態だったのかと言われるとここも本当によく分からないまま。ごめんなさい。

○中村宗雄議員

最後に、小栗さん自身がこうやってみんなの時間を使いながらやっている中で、何を

問題としているのかだけ教えてください。この長寿訪問に遅れたことを問題としているのか、自分の説明がみんなに理解されないことを問題と思っているのか、交通安全の義務を黙認してしまって、見過ごして次の行動に移ってしまった判断が問題なのか、その他でも何を問題として今回のことを考えているかだけ教えてください。

○小栗佳仁議員

長寿訪問という部分、油の状況を見て交通事故防止という判断のまずさ等々。何をと言われて一つに絞れと言われると苦しいところがあるわけですが、その2つが主なものです。

○石川英之議員

普段ですと14、15分で青山から自宅に帰れるということで、渋滞していたからルートを変えたというのは先ほどお聞きしました。そんな中で、後日2回検証したのだけでも2回とも8時48分から8時53分の間に乙川駅前の交差点を通過しているのですね。そうすると、曜日に関係なくだいたいこれくらいの時間、その道を通るとかかってしまう。ということは、8時50分に家にたどり着くことは無理がある。そうすると、待ち合わせが8時50分とわかっていたら、これはいつもとルートが違うな、混んでいるから間に合わないなと思ったら、本来待ち合わせしている人に連絡しませんか。なぜしなかったのでしょうか。

○小栗佳仁議員

油を見つけた時点で

○渡辺昭司議長

油を見つける前の話です。

○石川英之議員

油を見つける前です。油を見つけるところというのはほぼ家に近いところなので、それ以前に8時50分に間に合わないということが、おそらく誰がそこを通っていてもわかったはずなのです。要するに半田橋のところの信号を上手いことクリアしても、ガード下の信号では必ずといっていいほど止められるのですね。その時点で、これは間に合わないなとわかるじゃないですか。普通は、待ち合わせしている相手に連絡しませんか。なぜしていなかったのですか。実は、忘れていたのではないですか。ということが浮かんでくるのですね。

○小栗佳仁議員

そういう判断はできていなかったです。その時に妻からも、8時40分と40何分と2回くらい電話が入っていたようなのですが、それすらも気づいていなくて。

○石川英之議員

いいです。奥さんからの電話や市の担当者からの電話は気づかなくてもいいのです。小栗さん自身が、なぜ時間的に間に合わないと思ったら連絡しなかったのですか。ということを聞いているのです。だから、ちゃんと待ち合わせしていたのを覚えていたのですかということが聞きたいんです。

○小栗佳仁議員

半田大橋のところで時間が遅れるという判断はしていませんでした。いつもであれば15分で着くというイメージの中で。

○渡辺昭司議長

小栗議員、先ほど右折レーンが混んでいたから遅れるのではないかとって、まっすぐ進んだ。ガードを過ぎても右折レーンがあるからだいたい渋滞するのですね。そうすると、先ほど言われたことと矛盾が出ますので、そのところを整理してお答えください。

○小栗佳仁議員

そこで電話をするという判断が頭の中に一切なかったというのは現実です。

○石川英之議員

人と待ち合わせしているわけだから、一般的に遅刻しそうだとなれば連絡しませんか。だから、さっきも申し上げたように、人と待ち合わせしていること自体を忘れていたのではないですか。という疑問が残るのです。たとえ、相手が誰であろうと8時50分に待ち合わせをしていて遅れそうになれば、仮に1分前でも2分前でも電話しますよ。普通で言ったら。でも、もっと余裕をもって連絡しませんか。待ち合わせしているわけですから。それをなぜしていなかったのか。そうしたら、待ち合わせしていたこと自体を忘れていたのではないか。長寿訪問ということを忘れていたのではないの。用事だけ済ませて帰ってきたら、えらいことになっていたという話ではないのかという疑問が残るわけです。

○小栗佳仁議員

頭の中から、電話をするという判断がまるっきり飛んでいました。確かに言われてみれば、その時点で電話をしていればわかっていたと思うし、電話がかかってきたのが分かっていたら連絡も付けられたと思うし。その判断は私の大きな落ち度だと思います。

○沢田清議員

議題が長寿訪問ということもあって、文教厚生委員長というところでの気になる部分。端的に言います。9月11日その日、長寿訪問だったことを覚えていたか覚えていないか。これだけ教えてください。

○小栗佳仁議員

それについては、前日も確認して手帳に付けて、前日も手帳を持っていたので、それについては、長寿訪問という部分では確認しております。

○沢田清議員

事務所へ拡声器を返還するのに、家を何時に出ましたか。

○小栗佳仁議員

7時…。伴野事務所に8時に到着しております。8時ちょっとすぎくらいです。

○沢田清議員

先ほどからいろいろ質問があって、お返しをするたびに内容が少しずつ変わってきていると皆さんがたぶん思っていると思います。説明を細かくするのではなく、議員としてこういう時間を作ったことどう思っているかだけ言っていただければみんな納得するのではないかと思いますので、こんな長く言ってもしょうがないと思うのですが、そのあたりのところ、パニックになっているのかもしれないのですが、どうでしょうか。素直に。

○小栗佳仁議員

私のそもそもの判断のミスから物事がスタートしていると思います。時間に対する甘さも今思えばあったのかというところでございます。確かに、皆さんにこういった時間を取っていただきまして、誠に申し訳ないところであります。事が起きた時の状況・判断の甘さもかなりあったのかなと深く反省しなければならないことがいっぱいあるのかなと思っております。説明においても、思い出しながら又はこれまで何回もその場を歩いたりしながら、状況を思い出そうということで、いろいろ調べながら報告させていただいております。説明が上手くできないのは、どこでどうなったという時間が全く自分の中で不明確のままで、事がスタートしてしまったことが大きな原因だと思っております。以上でございますが、誠に申し訳ございません。上手くまとめられません。

○澤田勝副議長

さっきからお聞きしていますと、当日このことが起きたときは非常にパニックになっていたと何度もお聞きさせていただきましたけども。長寿訪問を公務として遅刻してしまったということに対して、議会に対してどう考えているのかということで。遅刻をされたという事実を議長に報告をするということがなかったように思います。僕も夕方くらいに周りから聞こえてきて、まだ議長には報告が上がってないということが分かりましたので、直接僕から小栗さんに対してお電話をさせていただいて、こういったことに対しては、まず議長に対して報告すべきではないかということを申入れさせていただいて、それから議長に対して報告をしたという風に思っているのですが、なぜそういった認識なのかお聞きしたいと思います。

○小栗佳仁議員

長寿訪問を終えて、現場の清掃状況を確認して家に帰った時にバイクの転倒があったということで、自分の責任を深くいろいろ考えてしまい、気持ちが悪くなってきまして横になり、すっかり頭の中から飛んでいたなと思います。たしかに副議長から電話を受けて、報告していないということで、そこでやっと我に返って電話をさせていただきました。

○澤田勝副議長

本当に気分が悪かったのであれば、それはしょうがないと思うのですが、僕の記憶ですと小栗さんに電話させていただいてすぐ連絡が取れなかったのですね。その時に、同じ会派の竹内功治議員にも電話をさせていただいて、それで出られなかった。その後すぐに小出議員にお電話させていただいて、そうしたら小出議員が出られた。実はこういったことがあったのだけどという話をしたところにすぐ隣に小出議員がお見えになりました。でそこで、お話をしたと僕は記憶していて、すぐに議長に報告しなければいけないよ。だから3人で会合をしていた時に、気分が悪くて横になっていたのか、そのあたりの事実を教えてください。

○小栗佳仁議員

帰宅した時点で、それが13時くらいそのタイミングで横になり、16時くらいに澤田議員からお電話を受け取ったと記憶しているのですが。途中、気分が悪くなり横になっておりました。その後、小出議員だったかな。誰かといたと思うのですが。気分が悪くなったのは、13時くらいからちょっと横になっていたのは事実です。

○澤田勝副議長

では、午後から調子悪くて横になっていて、また夕方は3人で会合されていて、その時は、気分は多少悪いにしてもお元気になっていたのでは。おそらく、議長に対して報告できるような状況にはあったのかなと思いました。あと、その時は電話で取りあえず議長に対して報告されたと思うのですが、後日議長室に来ていただいて、議長に対して報告していただいたと思うのですが、その時報告していただいた内容をもう一度教えてくださいませんか。

○小栗佳仁議員

おそらく、バイクの転倒という話、油をふき取ったこと、市の方に清掃のお願いをしたという話をしたと思います。

○澤田勝副議長

遅刻をした理由を議長に対して報告したということですが。僕も議長報告時に同席させていただいたわけですが、僕の記憶ですと、マンホールに油が落ちていた。たしか、知多信用金庫さんのバイクが通りかかって滑って転んだ。その対応に対して、パニックになっていました。と表現されていたと思うのですが、その対応によって待ち合わせの時間に遅刻したと。だからすみませんでした。というような報告内容だったと思うのですが。過日の議運や全協の報告に対しても、かなり報告の内容、議長・副議長に対しての報告が虚偽ではなかったのかと思うのですが。いかがですか。

○小栗佳仁議員

そのあたりの記憶がすごく曖昧な中で報告してしまったのは事実です。事実としては、転倒したという事実と、油をふき取ったという事実を報告したと思うのですが、いろいろ検証していく中で、全員協議会の資料になったと思うのですが。そこと整合性があつたのかないのかは、混乱の中での報告だったので、申し訳ないですがそこは説明が間違っていた可能性もあります。

○澤田勝副議長

説明が間違っていたということですが、議長に対する報告が非常に短い時間でしたので、要点だったと思います。知多信用金庫さんのバイクが倒れて、その対応で遅刻しました。すみませんでしたと。僕が小栗議員に聞いたのは、知多信用金庫さんの転んだだけの状況はどうだったのですか。救急車呼んだのですか。その程度はお聞きしたと思うのですが。理由として、その対応に追われていて遅刻したと僕は記憶しているのです。それに対して、検証した結果、全協で報告したことであればまた、議長に対する訂正も必要ではないかなと思うのですが。場当たりの答え。最初に報告した内容に対しても真実性がないと思うのですが。いかがですか。

○小栗佳仁議員

自分の中で整理がついていない状況で説明したので、間違いがあった可能性もあります。そこについては、違っていたという部分ではお詫びできていないのかなということで、時系列に並べた部分を作って、議長のところに再度説明に伺いました。

○渡辺昭司議長

それは、違ったから持ってきたわけではないですね。

○小栗佳仁議員

自分の中で整理がついていなかったのを整理して持っていったものです。議長とお会いして、そこまで報告しなくていいよという話をいただいた記憶があります。説明が上手くできていないです。ごめんなさい。

○渡辺昭司議長

議運で聞いたことと全協で聞いたことがあまりに違うのではという話になったので、それを自分で聞いていけないと思ったから書面を出されたのではないですか。

○小栗佳仁議員

そういった状況ではなくて、最初に紙で報告をしましょうかという問い合わせをどこかの段階でしたと思うのです。

○渡辺昭司議長

議長室に来ていただいた時には、マンホールのところでは知多信の人がバイクでこけて、けがをしているかもしれないから、その救助に当たっているということだったので、その内容のことを聞けばそれが真実だと思いますので、そのことでそれ以上のことを文書で出してくださいとは言いません。疑っているみたいですから。その後に、全員協議会で説明していただいたことが、内容違いましたよね。僕はその内容が違っても書面で出してくださいということは一言も言っていません。全員協議会の後で。それは小栗さんが違いを感じてかはわかりませんが、それを感じたからご自分で書かれて提出をされたのだと思います。

○小栗佳仁議員

自分の中でそもそも記憶がすごく曖昧な部分が多くて、検証しなければ何とも説明できないので、検証してこの報告書にいたりしました。

○渡辺昭司議長

そういうことは初めからそういつてください。出さなくていいとは言っていない。

○小栗佳仁議員

すみません。そうではないです。

○澤田勝副議長

今お聞きしますと、どれが真実なのかすごく疑問に思えてきて、この議員総会で余計に疑問を抱くのですが。端的に、議長に対する報告は嘘だったということでしょうか。

○小栗佳仁議員

嘘をついたつもりはありません。その状況を思い出せない中で、自分の頭の中で分かっている部分だけのお話をしたような記憶であります。

○新美保博議員

まず議長への報告は、何月何日ですか。

○小栗佳仁議員

9月11日の夕方、電話で連絡をさせていただきました。

○新美保博議員

9月11日の夕方に電話をしたということは、今副議長が言った油のふき取り清掃依頼、バイクの転倒という要点のことを話したのは、副議長に話したということか。2人がい

るところで口頭で聞いたのか、誰がどのように聞いたのか。電話で聞いたのか。

○澤田勝副議長

小栗さんが遅刻したよということが聞こえてきたので、まず小栗さんに議長に対して報告だけしなさいということをしました。

○新美保博議員

9月11日夕方、誰と電話したのか。

○小栗佳仁議員

まず、議事課へたぶん電話して、その後議長に電話したと思います。2人と会ったのは、休み明けの14日にお会いして、話をさせていただいたと思います。

○新美保博議員

事務局に聞く。事務側は誰が電話を受けたのか。

○竹内健議会事務局長

私が受けました。

○新美保博議員

9月14日の内容は、この紙の内容とは違いますよね。

○小栗佳仁議員

この紙の中の掻い摘んだところで、バイクの転倒で声をかけて。3点の部分の報告をしたと思います。

○新美保博議員

9月30日で自分の名前が入った検証結果があり、19日経って30日になったら思い出して、紙で報告したということだね。これが最新版と考えればいいね。

○小栗佳仁議員

そうです。

○新美保博議員

もう一つ確認。これが乙川吉野ね。吉野の東側のタバコ屋の交差点。ここがサンゴ・なべくらや。この左下に油があったということでもいいのだね。ここの交差点にはマンホールが3つある。先ほど中村議員が言ったように、あなたがここから信号待ちしてずっと行くには、確実に左車線の油を踏んでいる。砂が撒いてあったかどうかは別に、油の上を通らなければ、丸鐵へは行けない。でも、気が付かなかったのでしょ。マンホールにある油は気づいても、この砂の油は気づかない。なぜ気づかない。わかるか。

○小栗佳仁議員

砂は撒かれていなかったと思います。油の拡散はあったように思います。踏んだか踏んでいないかは、そのラインから行けば少しは踏んでいる可能性はありますが、マンホールが途中にあったか、マンホールに油がついていたかという、そこまでの記憶は残っていません。というのは、その前バイクが転倒したことに衝撃を受けていて。

○新美保博議員

もういいです。聞いたから。バイクが倒れて衝撃を受け、パニックになったというのはいい。落ち着いて思い出したらこういった絵ができた。これが事実かどうかを聞いている。

○小栗佳仁議員

現場を歩いて、油の状況を確認して、そこまではだいたい掴めました。

○新美保博議員

これを後でみなさんに回して見てもらいますが、9月11日、知多バスが油をこぼした。知多バスの責任者も当然見に来ました。この人が全部写真を撮った。この写真でいくと、ここには油なんか落ちていないのだ。ここから北だ。だから、油に触ることもないし踏むこともない。先ほどのマンホール3つはこの写真でいくときれいなものだ。油で汚れていない。当日、知多バスの間瀬さんが撮っていった写真。違うことはない。あつて、砂も撒いてあるわけだから。そういうことで、素直に遅刻しましたと言え、これをそういう理由にしてしまうから、ややこしくなるのだ。

○小栗佳仁議員

下の図のラインのところに、いまでも油の模様が残っていると思います。

○新美保博議員

あなたが言っているのは、このラインのことを言っている。このラインには油なんてあったことがないのだ。このマンホールには、油の跡なんてない。もっと言えば砂も撒いてない。

○小栗佳仁議員

吉野町までのところを歩いて何度か見たのですが、油の跡、砂を撒かれた跡は残っていませんでした。

○新美保博議員

それはそれでわかった。では、間瀬さん呼びましょうよ。正しいのか正しくないのか。これは高齢介護課が出してくれた資料だ。高齢慰問を時間で合わせて、慰問を受ける人はその時間に待っているのだよ。少しでも遅刻したら、電話の一本も入れるでしょう。そういう大事なことを高齢介護課が遅刻してどうするのだ。いや、そんなことはできないから高齢介護課は自分で時間通り3軒行きましたとやっているではないか。知多バスだって責任はあるから、もちろん高齢慰問ではないが、これに責任があるからこれもやらなければならない。報告書も出ている。それがことごとく違うことを言っているから、おかしいのではないか。違うことは事実だ。同行できなかった3世帯にお詫びに行っただ。誰が今更何をしに行っただのか。本人だろう。本人がどの状態で行っただのかというのが一つ。あなたが言う油でバイクが倒れてパニックになっていたところに、よくも長寿訪問に冷静な態度で行けたね。それだけパニックになっていて、時間も場所もわからないどういう対応をすればいいかわからない人が、相手に失礼にならないか。それを止めなかった高齢介護課の担当の人にも一言言いたくなってくる。そんなパニックになっている議員さんならお帰りくださいと。私一人でやっておきますと言うよ。これは、事務局の問題としてみたいと思うのですが。

○渡辺昭司議長

長寿訪問は終わっているので、お詫びにだけ行っただということなのです。職員さんだけで3軒は敬老祝い金を渡してきているので。帰って寝込んでしまうくらい状況的には厳しい話です。

○新美保博議員

やはり、バイクが転倒してパニックになりこういう状況下であるならば、ハザードたいてでも注意をすべき。迂回してくれ、止まってくれとか対応しなければいけない。それと、高齢慰問を天秤にかけたら、高齢慰問が大事だと思うなら、それはそれでいい。だったら、土木に電話入れている。9時30分の段階で対応してくれている。土木が9時30分までに来る間までは、自分が立つとか。土木が来るまで自分がここに立っているから、高齢慰問の担当者は一人でやってくれ。後で合流するからと。こんなこと50過ぎた大人がやることです。いいです。ここでやってもしょうがないので、違うところでやりましょう。違うと言っていたから。

○渡辺昭司議長

小栗議員に申しあげておきますが、確かに記憶に新しい11日お電話いただいた時と14日に議長室にご報告いただいた内容は同じでした。マンホールで事故があったので、その処理をされるということだったので、大変なことでしたねということで、夕方ご報告いただいた時にはしょうがないなと私も判断しました。14日の時も正副議長でその話を聞いた時も同じ内容でした。一番記憶が新しいときだと思います。当日と土日をはさんだ14日なので。その状況の後で議員総会のご報告の内容が全く違ったものですから、皆さんも疑問点を感じて、議員総会で確認したいということになったと思うのですから、それを踏まえた中で、この内容についてはどうするかご判断いただければと思います。今回は資料の内容での確認ということになりますので、これでないようですので、この件につきましては終わりたいと思います。以上で議員総会を終わります。

午後4時07分 閉会